



福島医発第1877号(地)
平成23年11月 9日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会長 松 田 峻 一 良
(公 印 省 略)

救急安心センター講演会の開催について (ご案内)

標記の件につきまして、厚生労働省医政局指導課より福岡県保健医療介護部医療指導課を通じて、別紙のとおり開催される旨、通知がありましたのでお知らせいたします。

近年、救急車による救急出動件数が大幅に増加しており、その要因のひとつとして「救急車を要請すべきか、医療機関に行くべきか、どの医療機関を受診したらよいのか分からない」といった判断に迷うケースがあげられます。

そこで消防庁では、24時間365日体制で医師または看護師が救急要請の判断に迷うケースの相談に応じる「救急安心センターモデル事業」を東京都、大阪府、奈良県で実施しており、今般、救急安心センターの成果、課題及び解決策等について、救急関係者、自治体及び地域住民等で情報共有を図ることを目的として、講演会が開催されるものです。

つきましては、貴会会員への周知方につき、よろしくお願い申し上げます。

記

△日 時 平成23年11月27日(日) 13:00～15:00
△ところ ロイトン札幌 ロイトンホール
札幌市中央区北1条西11-1
TEL: 011-271-2711

△参加申込 不要

公印省略

23医指第2569号

平成23年11月1日

福岡県医師会会長 殿

福岡県保健医療介護部医療指導課長

救急安心センター講演会の開催について

厚生労働省から、別添写しのとおり通知がありましたのでお知らせします。

つきましては、関係機関等に対し、広く御周知いただきますようよろしくお願いいたします。

担 当：保健医療介護部医療指導課

地域医療係 田中

TEL：092-643-3273（内線 3095）

FAX：092-643-3277

E-mail：tanaka-k8369@pref.fukuoka.lg.jp





事務連絡
平成23年10月19日

各都道府県衛生主管部（局）長 殿

厚生労働省医政局指導課

救急安心センター講演会の開催について

平素より、救急行政の推進につきまして御理解と御協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、消防庁では、救急需要対策の一環として、共通の短縮ダイヤル「#7119」により救急要請をすべきか等の住民の救急相談に答える窓口を設置する救急安心センターモデル事業を実施しており、その成果を踏まえ、同庁では救急安心センターの全国展開を目指しています。

そこで、救急安心センターの成果、課題及び解決策等について、救急関係者、自治体及び地域住民等で情報共有化を図ることを目的として、下記のとおり救急安心センター講演会が開催されますので、御連絡いたします。

つきましては、貴管内の関係機関等に対し、その旨広く御周知いただきますよう、よろしく願いいたします。

記

- 1 日 時 平成23年11月27日（日）13:00～15:00
- 2 場 所 ロイトン札幌 ロイトンホール
札幌市中央区北1条西11-1 電話 011-271-2711
- 3 開催内容 別添リーフレット参照

問い合わせ先

厚生労働省医政局指導課 佐藤・草開

Tel : 03-3595-2194

FAX : 03-3503-8562

e-mail : kusabiraki-koutarou@nhlw.go.jp

救急安心センター講演会

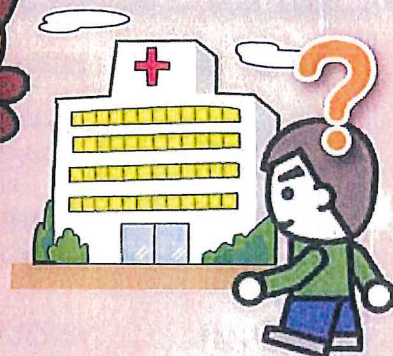
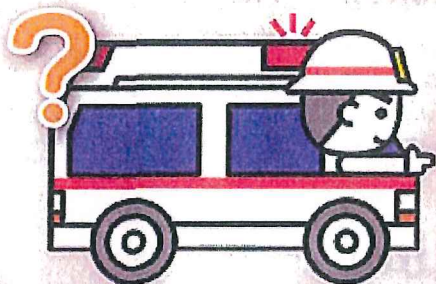
参加費
無料

救急車を呼んだほうが いいかしら??

日時 | 2011年11月27日(日)
13:00~15:00

場所 | ロイトン札幌 ロイトンホール
札幌市中央区北1条西11-1

主催 | 全国メディカルコントロール協議会連絡会
消防庁・札幌市



■講演者



森村 尚登
横浜市立大学医学部医学科
救急医学 教授

■パネリスト



山田 智子
NPO法人子育て応援かざぐるま
代表理事



飯田 晃
札幌市保健福祉局
医療政策 担当部長



荒井 伸幸
東京消防庁
救急部長

■事例紹介者



松元 照仁
自治大学校 部長教授
(前 消防庁救急企画室長)



志手 隆之
大阪市消防局
救急担当部長



海老原 諭
消防庁救急企画室長

事前の参加申込は不要です。

プログラム

- ・札幌市長挨拶
- ・救急安心センターDVD放映
- ・事例紹介
- ・講演
「社会全体で共有する緊急度判定
体系と救急安心センターについて」
- ・パネルディスカッション
「救急安心センターの今後の展望」

※上記のプログラムは変更する場合があります。

救急安心センターとは

近年、救急自動車による救急出動件数が大幅に増加しています。その要因のひとつとして、「救急車を要請すべきか、医療機関に行くべきか、どの医療機関を受診したらよいかわからない」といった判断に迷うケースがあげられています。

消防庁では、そのような判断に迷うケースの相談窓口として、救急安心センターの設置を推進しています。

救急安心センターは、共通の短縮ダイヤルを使用した24時間365日体制の医師や看護師による救急相談窓口です。受診可能な医療機関の情報提供や応急手当方法の指導に加え、救急要請をすべきかどうかについてのアドバイスも行います。

現在、このサービスは、東京都、大阪府、奈良県で行われています。

主な講演者・パネリスト紹介

講演者 | 横浜市立大学医学部医学科 救急医学 教授 **森村 尚登**

国内外のトリアージ事情に精通し、現在、「社会全体で共有する緊急度判定(トリアージ)体系のあり方検討会」のワーキンググループ座長を務める。

また、平成19年、全国に先駆けて東京都に開設された「東京消防庁救急相談センター」事業に救急相談センター運営協議会委員として当初から参画、現在の救急安心センター事業の基盤を作成。

パネリスト | NPO法人子育て応援かざぐるま 代表理事 **山田 智子**

今年度設立25周年を迎えた「かざぐるま」で、札幌の子育て家庭の応援団として、訪問型支援や地域の親子の居場所づくり、社会全体で子どもの育ちや子育て家庭を温かく見守り育むための環境づくりなどの活動を行う。

ほか



交通

札幌地下鉄東西線西11丁目駅より徒歩3分

問合せ先

消防庁救急企画室
TEL 03-5253-7529

札幌市消防局救急課
TEL 011-215-2070